

家族そろってあたたかな新年を迎えるために

－ 高山市・飛騨市・白川村 感染拡大防止メッセージ －

新型コロナウイルス感染症は、11月に感染が拡大しクラスターが複数発生するなど新規陽性者数が全国的に見ても高い水準となっています。

飛騨は厳しい冬の季節に入り、こまめな換気が十分にできない状況が、感染拡大の要因の一つとなっていると考えられます。今後寒さが増し、さらに感染者が増加すると、今夏のような医療ひっ迫などの事態に陥ることが懸念されます。

感染拡大を最小限に抑え、こうした深刻な事態を阻止し、社会経済活動を回しつつ、ひと月後には家族そろって笑顔で新年を迎えることができるよう、今一度感染拡大防止に取り組んでいただきますようご理解とご協力をお願いいたします。

令和4年11月29日

高山市長 田中 明

飛騨市長 都竹 淳也

白川村長 成原 茂

<2市1村の感染状況等> ※11/27時点データ

- ・10万人あたりの新規陽性者（7日間移動合計）1,003.06人
※全国第1位の北海道(1,080.81人)、2位の宮城県(1,020.38人)に次ぐ水準
- ・病床使用率47.8%（下呂市を含めた飛騨圏域全体）※県平均を上回る
- ・クラスターによる陽性者数（感染再拡大（10月10日）前後の7週間比較）
医療機関3.8倍、福祉施設3.9倍 ※いずれも県内最大



<感染拡大の要因と分析>

- ・新規感染者数やクラスターの増加については、子どもから多世代同居する家族内の感染や、高齢者施設内で入所者・利用者・支援者に感染が拡大するケースによるものが多いと推測されます。
- ・感染経路不明の方は多いものの、飲食、イベント、旅館・ホテル等での感染拡大は報告されていません。
- ・マスク着用、手指消毒などの対策は以前と変わらず取られていることを考えますと、寒くなり、換気が不十分なことが感染拡大の要因の一つと推測されます。
- ・病床使用率が高い理由については、入院対象となる高齢者が多い福祉施設内のクラスターによる入院が多かったことによるものと考えられます。現在は徐々に施設等での感染も収まりつつあり、入院されていた患者さんが施設等に戻りかけている状況となっていると思われま

市民・村民の皆さんにお願いする対策

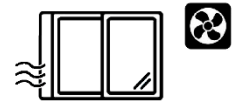
1 ワクチンの接種

- オミクロン株対応ワクチンの早期接種
- 小児（5歳～11歳）及び乳幼児（生後6か月～4歳）のワクチン接種



2 基本的な感染防止対策、特に換気の徹底

- 常時換気の徹底
 - ・わずかでよいので廊下・居間等の窓を常時複数開放し空気の流れを作る、定期的に部屋全体を換気する、二酸化炭素測定器で常時数値をチェックするなど
 - ・乗り合わせの車中では、外気導入で風量を強くするなど
- 会食時には、マスク会食とこまめな換気の徹底
 - ・人数の多少に関わらず、しゃべる際のマスク着用の徹底、換気の悪い空間の回避など
- 混雑した場所や感染リスクが高い場面における適切なマスク着用
- 手指衛生（手洗いが基本、できない場合は消毒を）
- 混雑した場所や感染リスクが高い場所への外出などの回避
- 日々の体調チェックと定期的な体温の測定



3 感染の不安がある際の行動

- 少しでも喉の痛みなどを感じた際、風邪っぽさを感じた際の行動ストップの徹底（感染対策チェックリストの活用、出歩かない・人と会わないなど）
- 市内の薬局等で県が実施している無料検査の活用（無症状で感染不安を感じる場合（旅行やレジャーの出発前と帰宅後、高齢者や基礎疾患のある方と会う前など）、症状がある場合に65歳未満、重症化リスクの低い方等は、県陽性者健康フォローアップセンターの利用）
- 感染の可能性がある場所に出かけた日から2～4日目の継続した検査の実施



4 家族内感染の防止

- 家族内で感染の可能性がある方が発生した場合の迅速な感染回避対策
 - ・家庭内でのマスク着用・消毒の徹底
 - ・行動の分離（寝室・食事をする場所を分ける、風呂は最後に入るなど）
 - ・タオル等の共用の回避など

5 医療ひっ迫を防ぐ取り組み

- すぐに医療機関を受診せず、症状がある場合はまず24時間電話健康相談の利用
- 市内の薬局等で県が実施している無料検査の活用（無症状で感染不安を感じる場合（旅行やレジャーの出発前と帰宅後、高齢者や基礎疾患のある方と会う前など））※再掲
- 症状がある場合に65歳未満、重症化リスクの低い方等は、県陽性者健康フォローアップセンターの利用 ※再掲
- 解熱鎮痛剤、生活必需品（食料など）の備蓄
- 救急車の適正利用

企業・事業所の皆さんにお願いする対策

1 事業所、宿泊施設、飲食店内の感染対策の再確認

- 狭い空間や昼食時のマスクなしでの会話を避けること
- 事業所など施設全体での換気の徹底
- 各業種におけるガイドラインの遵守・徹底



2 介護福祉施設、小中学校、保育施設における対策の再確認

- 職員の予防的検査の実施
- 換気の徹底など感染防止対策の徹底、症状がある場合の行動ストップの徹底

※感染の更なる拡大時及び季節性インフルエンザの同時流行時の医療体制の確保に向けて保健所との連携のもと、医師会などの関係機関の協力を得て、外来診療の強化など医療体制を確保します。